

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	地域振興課
	施策	離島の振興		電話番号	087-839-2278
	基本事業	交流・定住人口の拡大		事業実施主体	市
	事務事業	大島振興方策推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	大島におけるこれまでのハンセン病療養所としての歴史等を後世に伝えていくとともに、瀬戸内国際芸術祭を契機として育まれた、芸術関係者を始めとする島外の人々との交流を更に活性化するなど、大島の振興を図るため、「大島振興方策」に掲げる具体的施策・事業を計画的に実施します。
-------	--

29年度概要	大島ネットワーク構築に係る情報発信業務 交流ワークショップ開催業務（社会交流会館を活用した更なる取組の推進）
--------	---

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	大島への来島者数を増加させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
大島交流イベント開催回数（地域振興課実施分）	回			1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	大島交流イベント参加者数（年間総数）	人	目標値			6,500	7,000	7,500
			実績値			6,016		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 大島振興方策等に基づき、大島振興につながる人権学習などを含む交流による活動等具体的事業に取組むことで来島者を増加させるとともに、大島の歴史の伝承と交流・定住の促進を図る。 (目標達成度)							(達成度) 92.6% 32点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[千円]		16,379	6,722	5,492
（事業費）	[千円]		12,689	2,796	1,566
（職員人件費）	[千円]		3,690	3,926	3,926

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

大島ネットワーク事業として、情報発信のための「大島レター」を4回発行したほか、大島青松園内に整備中の社会交流会館内の看板等を作成するワークショップ事業を実施した。大島航路分析業務については、27年度に実施した内容を踏まえ、今後の航路維持方策の検討等を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

大島振興方策に基づき、具体的な施策・事業を効果的に行うことで、「歴史の伝承」と「交流・定住の促進」を図り、大島の有人島としての存続を維持していくことが必要であるため、事業の継続が必要である。